

しせい ひ つづ ちょうせん む あいさつ 市政への引き続きの挑戦に向けたご挨拶

にほんしゃかいぜんたい しょうしこうれいか すす なか
日本社会全体で少子高齢化が進んでいる中、
ふなばし市ではその進行が地域ごとに異なり、それ
ゆえ求められるニーズも多様である点に大きな
とくちょう 特徴があります。

こどもたちこぞだてせだいのかたがた たすう す
子ども達や子育て世代の方々が多数お住まい
の地域では、子ども達やご家庭それぞれのニ
ズに即した教育・保育の環境整備・サービスの
かくじゅう もと 拡充が求められています。また、仕事と家庭生
かつ ちょうわ あんしん こさま そだ 活を調和させ、安心してお子様を育てられるよ
う、保護者の方々に寄り添った取り組みも必要
です。

いっぽう ふなばし なが す こうれい
一方、船橋に長く住まれ、ご高齢になられ
た方々が多くいらっしゃる地域では、心身の健
こう たも ひび く ささ いりょう かいご ふく
康を保ち、日々の暮らしを支える医療・介護・福
祉サービスの充実が求められています。また、
きょうみ かんしん おな かつがた じかん とも
興味関心を同じくする方々と時間を共にする
ぶんか スポーツ活動の場や、お出かけしやすい交
つう しく ひつよう 通の仕組みづくりも必要です。

さらに、ねんれい しょうがい うむ
さらに、年齢や障害の有無にかかわらず、ど
のような方々にもご利用しやすいというバリア
フリー／ユニバーサルデザインの視点から、既
ぞん こうきょうしせつ さいけんとう かいぜん
存の公共施設・サービスを再検討、改善してい
くことも、ひつづ じゅうよう かいだ
くことも、引き続きの重要課題です。

わたくし れいわ がん ねん しぎ かいぎ いんせんきよ
私は令和元(2019)年の市議会議員選挙に
さいせん たまわ ねんかん かろう かがし ない
て再選を賜ってからの4年間、可能な限り市内
かくしよ うかが しみん かたがた ちょうせつじぎょう たん
各所にお伺いし、市民の方々や直接事業を担
とう 当されている方々にお話を聞いてまいりまし
た。そうして把握することの出来た市民生活に
おける課題やニーズにつきましては、議会にお
ける質疑・質問を通じて問題提起や対策の提案
をしつぎ しつもん つう もんだいていき たいさく ていあん
をする中で、市役所の担当者や議員各位と認
しき きょうゆう とく すいしん じたりよく
識を共有し、取り組みを推進するよう尽力し
てまいりました。また、ねん かい ていれい ぎかいへいかいご
また、年4回の定例議会閉会後
は、しつぎ しつもん がいよう かくちいき し と
質疑・質問の概要や各地域における市の取り
く 組みを、ちらし はいふ つう つた でき
組みを、チラシの配付を通じてお伝え出来るよ
う努めてまいりました。

わたくし ねんかんふなばしし せいかつ し
私は、これまで37年間船橋市で生活し、市
ぎかいぎいん として 2き ねんかっどう いただ
議会議員として2期8年活動させて頂きました。
そして今後も引き続き、自身の目指すまちづく
りに向けて、市政に挑戦致します。それは子ど
もたち こぞだてせだい かたがた こうれい かたがた
も達や子育て世代の方々も、ご高齢の方々も、
しょうがい かつ かた ひとびと ひび
障害のある方もない方も、すべての人々が日々
えがお く なが す つづ おも
笑顔で暮らし、長く住みたいと思えるまち
づくりです。わたくし たろう みなさま あつ
私、はまの太郎に、皆様の厚い
しえん こんご ねが ほう もう あ
ご支援を、今後ともよろしくお願い申し上げます。



はまの太郎が目指す船橋



子ども達が、すこやかに育つまち

- ★子ども達が生き生きと、まなび・遊び・育っていけるまちづくりを目指します。
- ★障害のある子どもない子ども、通いやすい幼稚園・保育園・学校づくり、過ごしやすい放課後の時間づくりに取り組みます。
- ★教育・保育の先生達の事務・雑務の負担を減らし、子ども達一人一人に対応しやすい環境づくりに取り組みます。

お年寄り・障害のある人もない人も、暮らしやすいまち

- ★お年寄り・障害のある人もない人もが安心して、生活し・活動し・交流できるまちづくりを目指します。
- ★障害のある人もない人も、利用しやすい交通の仕組みづくり、住まいや仕事の確保に取り組みます。
- ★自宅や地域で利用できる医療・介護・福祉サービスを充実させ、暮らしを支える仕組みづくりに取り組みます。